



たっち

平成23年 (2011年) 6/10
年2回発行

第17号

編集・発行 / 立川市教育委員会
〒190-8666 立川市泉町1156-9
☎042(523)2111 (市役所代表)

立川市ホームページ
http://www.city.tachikawa.lg.jp/

教育だよりの「たっち」は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。



食教育支援事業の様子

学校給食課では、「食教育支援事業」を平成17年度より重要な事業として位置づけ、取り組みを進めています。
この事業は、児童生徒が、自ら生きる力を育み、食育すること

食教育への取り組みを紹介します

の楽しさ、大切さを身に付けることを目的に、学校栄養士が生きた教材である給食を通して、学級担任や食に関連した教科担任と連携したチーム・ティーチング形式で授業を行っています。
平成22年度は、小学校20校・中学校2校で実施し、年々拡大を図っています。

小学校の取り組み

小学校の授業の内容は、「給食が始まるよ」「牛乳を飲もう」「一日のスタートは朝ごはんから」「大豆博士になろう!」「どんな食べ方がいいのかな」「上手なおやつのおべ方」など、

また、18年度から「野菜博士になろう」をテーマに立川市内の農業生産者の方々と協働して、生産物の知識や、体験を踏まえた指導も取り入れ、22年度は、産業振興課とのタイアップで10校について支援指導を実施し、

様々な指導テーマで実施しています。授業は、児童が興味深く話を聞き、楽しそうに活動しているのが印象的です。指導後は、給食の食べ残しの量も減ったり、感想文では、「好き嫌いをなくしたい」「朝ごはんを必ず食べよう」など、意欲的な意見が目立ち、授業内容の効果が伺えますが、児童にとって、その自覚を日常生活に継続して生かしていくことが重要と考えています。

中学校では、「何をどのくらい食べたらいいのだろう」を指導テーマに授業を実施したほか、食に関するポスターを毎月学校へ配付したり、給食時間の校内放送用原稿を提供するなど、様々な方法で啓発を行っています。

中学校給食課 ☎(531) 37111

立川市新学校給食共同調理場(仮称) 整備運営事業がスタートします



新共同調理場のイメージ図

立川市では、現在の2つの学校給食共同調理場の老朽化対策と運営の効率化を図るため、1つに統合した新学校給食共同調理場(仮称)整備・運営事業をPFI方式(※)により進めており、今年度から事業がよいよ本格的にスタートします。事業概要と事業のスケジュールは次のとおりです。

事業概要

※Private-Finance-Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)方式:民間の資金と経営能力、ノウハウを活用し、公共施設等の設計・建設及び維持管理・運営を行う手法

●事業内容 市内小学校のうち12校に、民間の豊富なノウハウを活用した、より衛生的でおいしい給食を供給する事業で、共同調理場について①設計②建設③維持管理④運営と一連の業務を民間の事業者が委ねるものです。ただし、食材発注や献立作成等の業務は市が引き続き行い、給食の安全について市が責任を持つことは今ままで変更ありません。

●事業の特徴 ①高い衛生水準の確保②食物アレルギーへの十分な対策③見学通路の充実等で食育機能を拡充④耐震設計等

●契約相手 (株)立川スクールランチサービス(代表取締役 中館亨氏)

●事業期間 17年間(設計・建設 2年間▽維持管理・運営 15年間)

●場所 立川市泉町1156-14

被災地の小中学生へ 応援メッセージを届けます

市教育委員会では、北京パラリンピック走り幅跳び代表のアスリート・佐藤真海さんの呼びかけに応え、賛同した市立小・中学校が、東日本大震災による被災地の小・中学生に向けて応援メッセージを送付します。昨年の人権イベントの際、佐藤さんに立川市で講演をお願いした縁で今回呼びかけをいただきました。
5月25日には、第五小学校の代表委員の子どもたちが、同校のメッセージを教育長に届けました。今後、呼びかけに応えた学校のメッセージをまとめ、佐藤さんに届ける予定です。

固教育総務課・内線2464

「立川市学校教育振興基本計画」を紹介!



立川市学校教育振興基本計画は、5年間(平成22~26年度)の学校教育の目標や方向性を明らかにし、それらを実現していくための具体的施策や事業を提示したものです。
この計画は、公募市民と有識者の推薦で構成する「立川市学校教育振興基本計画検討委員会」での検討内容や、市民意見公募(パブリックコメント)で寄せられたご意見などを踏まえつつ、教育委員会において協議を重ね策定したものです。
計画は、▼第1章「総論」▼第2章「計画の目標・施策展開の方向」▼第3章「アクションプラン」▼第4章「計画の推進にあたって」▼「資料」となっています。
「立川市の目指すべき子どもの姿」として示す学校教育の目標を実現するために、3つの基本方針、19の基本施策、73の具体的事業(再掲を含む)を掲げます。
※計画の全文は、市ホームページ、各図書館、市役所市政情報コーナー(3階)でご覧になれます。

固教育総務課・内線2464

図書館探検 15

子育て応援コーナー・
シルバー情報コーナー
を新設



子育て応援コーナー

中央図書館では、平成22年11

月に2つのコーナーを新設しました。

1つは子育てに必要な情報をワンストップで提供できる子育て応援コーナーです。妊娠・出産、離乳食、小児医療、育児・しつけ、赤ちゃんの名付けなどの本だけでなく、子どもと遊ぶ・楽しむ本もあります。絵本の選び方や子育て支援の情報もまとめてひとつのコーナーにしました。

2つ目はシルバー情報コーナーです。一般的な高齢者問題に関する本に加え、相続、遺言、年金、資産管理、介護、医療・健康などの本をあつめました。高齢者向け就職情報やセミナー



シルバー情報コーナー

などの情報もあわせてお知らせしております。高齢者をご家族に持つ方にも参考になるようなものもあります。

どうぞ中央図書館2階の新設コーナーをご家族でご利用ください。

問 中央図書館
☎(528) 6800

社会教育関係団体 登録更新の手続きを

登録更新の手続きを

立川市では各種団体やサークルの生涯学習活動を支援するため、社会教育関係団体登録制度を設けています。この登録制度は、登録団体の状況把握と適正な登録の継続のため、3年に一度更新を行うこととしています。今期の登録有効期間は、平成23年8月31日(水)で満了。9月1日以降は現在お持ちの登録

証が利用できなくなり、そのままでは施設利用料の減免等が受けられなくなります。

登録更新のための申請書類を代表者宛に発送しましたので、更新を希望する団体は、6月30日(木)までに、各地域学習館または生涯学習情報コーナーで手続きをしてください。ファックスや郵送での受付はしておりませんので、ご了承ください。くわしくは、生涯学習情報コーナー☎(528) 6803へお問い合わせください。

放課後子ども教室

放課後子ども教室

放課後子ども教室とは

子どもの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て大人が子どもを見守りながら遊びや学習・スポーツ・文化活動、地域住民との交流等の取り組みを推進するものです。

国と都の補助事業として平成19年から始まり、市の全小学校で、地域の方々や保護者、学校関係者の協力により実施してい

協力を募集

放課後子ども教室では、安全管理員、ボランティア、運営委員としてご協力いただける方を募集しています。地域のお役に立ちたい方、子どもと触れ合いたい方など、興味のある方をお待ちしています。

問 子ども家庭部子ども育成課
☎内線1310

学校名	教室名
第一小学校	一小わくわくクラブ
第二小学校	二小なごみん
第三小学校	さんさんクラブ
第四小学校	クローバー教室
第五小学校	ゴーゴークラブ
第六小学校	はごろもっ子
第七小学校	菊っ子クラブ
第八小学校	はちっ子 JOY くらぶ
第九小学校	あしっこ
第十小学校	十小けやきクラブ
けやき台小学校	けやき台リラックスルーム
西砂小学校	にしっこ
南砂小学校	フレンドクラブ
若葉小学校	若葉小わかばタウン
幸小学校	はっぴいスマイルくらぶ
松中小学校	むぎっこクラブ
大山小学校	大山っ子クラブ
柏小学校	かしわっこ
上砂川小学校	上砂わいわい広場
新生小学校	かせっ子クラブ

*学校の事業ではありませんので、学校への問い合わせはご遠慮ください。

祝 教育委員会表彰

立川市教育委員会表彰規程に基づき、以下のとおり表彰を行いました。《敬称略・順不同》

- 田代圭介 社会教育委員として社会教育の発展に貢献寄与されました。
- 山田昌夫 立川・昭島マラソン大会(旧立川マラソン)実行委員会委員長として社会教育の発展に貢献寄与されました。

教育委員会では、有益な調査・研究、特に模範とする行為、教育・文化の振興における功績、体育その他の文化活動において特に優秀な成績をあげた個人または団体を、規程に基づき表彰しています。

自薦・他薦を問わず、随時行いますので、詳しくはお問い合わせください。

問 教育部教育総務課
☎内線2464

ハケ岳山荘を ご利用ください

「ハケ岳山荘」をご存知ですか？山梨県清里にある、市が所有する施設です。

市内の小・中学校の校外授業や青少年の自然体験の場として、又、市民の皆さまの憩いの宿としてご利用いただいております。



ハケ岳山荘

清里は、自然豊かで、四季折々の自然が奏でるシンフォニーをお楽しみいただけます。近くには美術館・歴史館などの文化施設や、自然の恵みである温泉もあります。ほかに、登山やスキー・星空観測・自然観察などができます。大変、皆様にご好評いただいているお食事とともに、自然の懐の深さを心ゆくまで堪能ください。

山荘の利用料金 市民の方は一泊2食付・4千500円ご利用いただけます。

割引 中学生以下の方、65歳以上の方、障害のある方等の割引があります。他にも山荘独自で事業も行っていきます。

詳しくは、立川市ハケ岳山荘☎0551(48)2309へお問い合わせください。

子ども会に入会しませんか

子ども会では、市内の各地域で年齢の異なる子どもたちが、自然体験などの遊びを中心にさまざまな活動を自主的に行っています。少子化や核家族化など、子どもたちを取り巻く社会環境が変化するなか、子ども会は、集団活動を通して自主性や協調性、忍耐力などを養う絶好の場

立川の歴史と文化財 17

「鈴木平九郎・公私日記」改訂版・第一巻の刊行

このたび、立川市教育委員会は、「鈴木平九郎・公私日記」の改訂を行い、第一巻を刊行しました(写真)。

公私日記は、以前にもこのコラムで紹介されておりますが、幕末の柴崎村(旧立川市)で名主を務めた鈴木平九郎が、天保8年(一八三七)から安政5年(一八五八)までの間に書き綴った日記です。改訂版・第一巻では、このうちの天保8年から天保11年までの4年分を収めています。

現代の私たちの感覚では、日記というと、自分の身の周りの出来事や、他人に読まれたくない秘密の事を書いたりすることが多いと思いますが、公私日記は筆者の鈴木平九郎が経験してきたことを、後の時代の参考になるようにと、他人に読まれる



鈴木平九郎 公私日記

ことを前提として書かれています。したがって、その内容は多岐に及んでおり、公私に渡る様々な出来事が記されています。主観を交えずに客観的に事実のみが記述されている点も特徴的で、まさに当時の社会状況を知る貴重な史料となっています。時代は明治維新に向かつて大きく動いており、日本史上有名な出来事もたびたび登場します。公私日記の原文はくずし字で書かれており、読みこなすことは簡単ではないのですが、本書は解読し活字体で掲載しております。漢文の知識が少しあれば、お読みいただけることと思います。歴史に興味のある方はぜひご覧ください。

頒布先は、歴史民俗資料館・市役所市政情報コーナー他。B5判・309頁・1千900円。

第二小学校 建替事業について

立川市立第一小学校は、平成26年度の改築竣工に向けて、現在基本設計を策定しています。

「これからの予定」

▼実施設計
計 平成23年7月～平成24年7月
▼仮設校舎建設 平成24年2月～平成24年7月
▼仮設校舎への引越 平成24年夏休み中
▼新築校舎建設 平成24年11月～平成26年7月
▼新築校舎竣工 平成26年7月

くわしくは市ホームページをご覧ください(「一小」で検索するとヒットします)。

問 教育総務課 内線2474

泉市民体育館は 全面改修工事をを行います

平成25年9月から10月にかけて第68回国民体育大会東京大会が開催され、立川市でもバレーボール、バスケットボール、自転車、軟式野球の4競技が行われます。このうちバレーボール、バスケットボールは泉市民体育館が競技会場になります。この大会開催に向けた改修工事と耐震補強を実施するため、平成23年10月から平成24年6月(予定)まで休館し、全面改修工事を、再開は平成24年7月以降を予定しています。工事中はご迷惑をおかけしますが、リニューアルする泉市民体育館にご期待ください。

問 スポーツ振興課 ☎(536) 6711